

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
(1) みんなが支え合う豊かなコミュニティづくり				
① 地域ごとの小地域福祉計画づくり				
A 地域座談会等の開催支援	<p>・増進型地域福祉の考え方を取り入れた課題の話し合いから理想とする状態の実現に向け、地域の多様な主体が話し合う地域座談会を開催</p> <p>・対象:南住吉・山之内・清水丘</p> <p>・地域の課題解決策・地域福祉推進策を地域の多様な主体が集まり話し合える場の定着をめざしていく。</p>	<p>南住吉地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未実施の2回目の取扱いについて再確認(7~8月) ・えーまちフェスタ実行委員会との関係について整理(8~8月) <p>山之内地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催に向け、日時調整(7~8月) ・開催(9~12月) ・結果集約(12月) ・振り返り及び次年度に向けた打ち合わせ(12~1月) <p>清水丘地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催に向け説明(地活協会長等)(7~8月) ・コアメンバー会議の開催(8~9月) ・参加予定者への説明及び依頼(9~10月) ・開催(10~12月) ・結果集約(1月) ・振り返り及び次年度に向けた打ち合わせ(1~2月) 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年4月25日から6月20日まで大阪府に緊急事態宣言が発出され、6月21日からまん延防止措置が適用、8月2日から9月12日まで再度緊急事態宣言が発出されたことから、参集形式の地域座談会の開催ができなかった。 ・緊急事態宣言解除の見通しが見つからない中で、スケジュールの調整も進めることができなかった。 ・解除後の進め方について地域座談会検討チーム会議を開催した。 <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月28日に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除されたものの、引き続きの感染予防対策の中で、地域座談会の開催が難しい状況である。 ・地域座談会検討チーム会議を開催し、各地域へのアプローチについて確認した。 ・各地域において、コアメンバー会議から再開していくことで調整を図る。 ・清水丘地域において、2月10日開催の地域高齢者支援ネットワーク交流会の後、交流会メンバーをコアメンバー会議として位置づけ地域座談会の開催について検討いただく。 ・他の地域においては、感染拡大の動向が掴めず、具体の動きにつながっていない。 <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月21日までまん延防止等重点措置が出されていたため、本年度中の地域座談会の開催に至らなかった。 ・3月24日、東粉浜地域において地域座談会コアメンバー会議を開催。座談会の議論をもとに、地域の子どもの顔が見えるイベント(ハロウィンナイト)の開催について検討が進められており、令和4年10月末開催に向け実行委員会を立ち上げられる。 	C
B 小地域福祉計画の支援	<p>・策定に向けた議論を開始し、1地域において小地域福祉計画の素案を策定</p> <p>対象:墨江・苺田・長居・東粉浜・苺田南</p>	<p>・令和2年度において座談会(2年目)の地域【東粉浜・苺田南】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座談会の結果を振り返り(7~9月) ・振り返りを受け、方向性の決定(8~9月) ・事業実施に向けた協議(10月~) <p>・令和2年度において座談会(3年目)の地域【墨江・苺田・長居】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの経過の振り返り(7~9月) ・振り返りを受け、方向性の決定(8~9月) ・事業実施に向けた協議(10月~) 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年4月25日から緊急事態宣言が発出され、6月21日からまん延防止措置、8月2日から再度緊急事態宣言が発出されたことから、参集形式での会議が開催できなかった。 ・地域座談会検討チーム会議において、現状確認と解除後の進め方について話し合った。 <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月に緊急事態宣言が解除されたものの、引き続き感染予防対策が必要であり、参集形式での会議が開催できていない。 ・墨江地域で開催されたケアマネ交流会において、地域の課題や地域としてめざすべき理想の姿について話し合わせ、毎月開催される墨江地域福祉会議において小地域福祉ビジョンの策定、4月公表に向けて議論が進められている。 <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月21日までまん延防止等重点措置が出されていたため、本年度中の参集形式での会議が開催できなかった。 ・墨江地域では、墨江地域福祉会議の中で小地域福祉ビジョンの内容について検討を重ねられ、素案をまとめられた。 	B

評価:A...目標を上回る実績があった
 B...目標が達成できた
 C...目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
② ご近『助』福祉と居場所づくり				
A ネットワーク会議の開催支援	・コロナ禍での地域の福祉活動の工夫や課題の共有、活動者のモチベーションの維持ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂連絡会 4回 ・高齢者食事サービス連絡会 1回 ・子育てサロンボランティア連絡会 1回 ・子ども見守り隊連絡会 1回 ・子ども見守り隊校区别意見交換会 14校下各1回 ・子ども見守り隊幹事会・交流会 1回 ・ふれあい喫茶ボランティア連絡会 1回 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂連絡会 2回 <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者食事サービス連絡会 1回 ・こども食堂連絡会 2回 ・子ども見守り隊校区别意見交換会 4校下 ・同 アンケート 9校下 <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンボランティア連絡会 1回 ・子ども見守り隊幹事会・交流会 中止 ・ふれあい喫茶ボランティア連絡会 1回 	B
B 食事サービスやふれあい喫茶などの開催情報の発信	・各地域での食事サービスやふれあい喫茶などの開催情報を広報すみよしや区ホームページで周知をおこない、誰もが気軽に参加できる状況をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報すみよしで食事サービスやふれあい喫茶的紹介(年1回) ・区ホームページで開催日や連絡先など周知(通年) 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区ホームページにおいて、食事サービスやいきいき百歳体操のスケジュールを掲載するとともに、ふれあい喫茶の中止及び再開状況を掲載している。 <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報すみよし1月号(特集記事6、7面)での地域活動協議会活動紹介にて掲載。 ・区ホームページにおいて、食事サービスやいきいき百歳体操のスケジュールを掲載するとともに、ふれあい喫茶の中止及び再開状況を掲載している。 <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区ホームページにおいて、食事サービスやいきいき百歳体操のスケジュールを掲載するとともに、ふれあい喫茶の中止及び再開状況を掲載している。 	B

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
(2) 支援が必要な人々へのつながりづくり				
① 身近な地域での相談体制の構築				
A 地域と専門職のネットワーク強化	<ul style="list-style-type: none"> ・おりおのカフェ ・墨江出張相談 ・南住吉第5住宅 ・墨江小地域福祉会議 地域と専門職の連携による各出張相談窓口の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・おりおのカフェ(第3日曜日) ・墨江出張相談(第2月曜日) ・南住吉第5住宅(第3金曜日) ・墨江小地域福祉会議(第2火曜日) 	【8月末】 <ul style="list-style-type: none"> ・墨江出張相談 3回 ・墨江小地域福祉会議 2回 【1月末】 <ul style="list-style-type: none"> ・おりおのカフェ 3回 ・墨江出張相談 4回 ・墨江小地域福祉会議 5回 ・大依羅神社暮らし健康相談会 1回 【期末】 <ul style="list-style-type: none"> ・おりおのカフェ 中止 ・墨江出張相談 2回 ・南住吉第5住宅 中止 ・墨江小地域福祉会議 2回 	B
B 地域支援事務所の窓口機能・拠点機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・支援事務所の現状を把握し、今後の方向性について検討が始まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠里小野常駐委員会(第2火曜日) ・山之内見守りボランティア会議(毎月) ・地域支援事務所のあり方を検証(会議の開催) ・常駐地域支援相談員研修会の開催 	【8月末】 <ul style="list-style-type: none"> ・遠里小野常駐委員会 1回 ・山之内見守りボランティア会議 5回 ・常駐地域支援相談員研修会の開催 1回 【1月末】 <ul style="list-style-type: none"> ・遠里小野常駐委員会 4回 ・山之内見守りボランティア会議 5回 ・常駐地域支援相談員研修会の開催 1回 ・南住吉支援事務所開設前打ち合わせ 1回 【期末】 <ul style="list-style-type: none"> ・遠里小野常駐委員会 2回 ・山之内見守りボランティア会議 2回 ・地域支援事務所の在り方検証(会議) 未開催 	B

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
②子育て世代の孤立防止				
A 「はぐあっぷ」事業の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から就学前までの相談体制や関係機関との連携を強化し、切れ目のない子育て支援で子育てをサポートする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子手帳交付時面接、新生児訪問、乳幼児健診等を実施し、ニーズの早期発見と支援、必要時は関係機関等へ繋げる。 ・子育て支援連絡会の開催 ・子育て応援マップやすみちゃん子育てネットの発行。 ・SNSを通じた子育て情報の発信 ・利用者支援専門員の配置と相談の実施 ・子育て講座や子育て教室の実施 ・保健師等のアウトリーチと、両親学級の実施 ・乳幼児の親支援のためのプログラム(BPプログラム)の実施 ・いやいや期の子育て支援(ペアレントプログラム)の実施 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援連絡会の開催(毎月1回) ・子育て応援マップ発行(6月)。 すみちゃん子育てネットの発行(2か月に1回) ・SNSを通じた子育て情報の発信(随時) ・利用者支援専門員の配置と相談の実施(通年) ・子育て講座や子育て教室の実施(いやいやカフェ、のびのびひろば、ぴよぴよひろば、離乳食講習会等定期開催) ・保健師等のアウトリーチ(随時)、両親学級の実施(1回) ・乳幼児の親支援のためのプログラム(BPプログラム)の実施(第1回開催) ・いやいや期の子育て支援(ペアレントプログラム)の実施(開催中) <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援連絡会の開催(毎月1回) すみちゃん子育てネットの発行(2か月に1回) ・SNSを通じた子育て情報の発信(随時) ・利用者支援専門員の配置と相談の実施(通年) ・子育て講座や子育て教室の実施(いやいやカフェ、のびのびひろば、ぴよぴよひろば、離乳食講習会等定期開催) ・保健師等のアウトリーチ(随時)、両親学級の実施(3回) ・いやいや期の子育て支援(ペアレントプログラム)の実施(開催中) <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援連絡会の開催(毎月1回) すみちゃん子育てネットの発行(2か月に1回) ・SNSを通じた子育て情報の発信(随時) ・利用者支援専門員の配置と相談の実施(通年) ・子育て講座や子育て教室の実施(いやいやカフェ、のびのびひろば、ぴよぴよひろば、離乳食講習会等定期開催) ・保健師等のアウトリーチ(随時)、両親学級の実施(5回) ・いやいや期の子育て支援(ペアレントプログラム)の実施(1回) 	A

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

		令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
			計画	実施状況	評価
	B すみちゃん「子ども・子育て安心」見守りネットワークの推進	<p>・支援を要する子どもや子育て世帯に早期に気づき必要な支援につなげられるよう、子ども・子育てに関わる関係機関や地域団体等の連携が進んでいる。</p>	<p>・子どもや子育て世帯にかかわる区内関係機関や地域団体等が協力し、地域をあげてまちぐるみで子どもや子育て世帯を見守り支えていく。(通年) 具体的には、見守り体制の構築や見守り支援の心得、見立ての仕方や関係機関の連絡先等を記したハンドブックの作成、研修会・講演会などの開催などを行う。</p>	<p>【8月末】 ・『見守り安心』リーフレットを地域活動協議会、民生委員・児童委員協議会、主任児童委員連絡会、子ども見守り隊連絡会等で配布し、活用依頼。 ・自らSOSを発することが少なく周囲の気づきが困難な事案が多い「ヤングケアラー」をテーマとした研修開催に向けて、講師等と調整中。 ・地域で見守り活動を行っている方々の意見要望を踏まえた内容の啓発用ハンドブック等作成予定。</p> <p>【1月末】 ・自らSOSを発することが少なく周囲の気づきが困難な事案が多い「ヤングケアラー」をテーマとした研修を開催(2回)。 ・上記「ヤングケアラー研修」の内容を踏まえた啓発用ハンドブック等作成中。</p> <p>【期末】 ・上記「ヤングケアラー研修」の内容を踏まえた啓発用ハンドブック「ヤングケアラーを知っていますか？」を作成し、「すみちゃん『子ども・子育て安心』見守りネットワーク」参加の区内の子育て世帯に関わる子育て機関や地域団体等に配布。</p>	A
	C 子どもサポートネットの継続実施	<p>・支援を必要としている児童・世帯を継続的に把握し、適切に福祉制度・資源につなぐ。</p>	<p>・各学校でスクリーニングⅡ会議を学期に1回以上開催し、支援を必要とする子ども・世帯を把握する。 ・子どもサポートネット推進員による巡回相談(学校訪問)で定期的に子ども・世帯の状況を把握する。 ・関わりに同意を得られた世帯から順次面談、家庭訪問等を行い、必要とする支援・制度につないでいく。</p>	<p>【8月末】 ・スクリーニング会議Ⅱを小学校10校、中学校6校においてのべ18回開催。 ・スクリーニング会議Ⅱにおいて、177人の児童生徒についてアセスメントを実施。</p> <p>【1月末】 ・スクリーニング会議Ⅱを小学校13校、中学校8校においてのべ44回開催。 ・スクリーニング会議Ⅱにおいて、199人(1月末の数字)の児童生徒についてアセスメントを実施。</p> <p>【期末】 ・スクリーニング会議Ⅱを小学校14校、中学校8校においてのべ60回開催。 ・スクリーニング会議Ⅱにおいて、201人(3月末の数字)の児童生徒についてアセスメントを実施。</p>	A

評価:A…目標を上回る実績があった
B…目標が達成できた
C…目標が達成できなかった

		令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
			計画	実施状況	評価
	D 「地域の拠点づくり・潜在的リスクへのアプローチ」事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の拠点に子育ての専門職が巡回し、こどもや子育て世帯を見守る地域ボランティア等への情報提供を通じ、地域における支援力の向上を図るとともに、子育て世帯の身近な相談の場を確保する。 ・見守りが手薄な対象へのアプローチを行い、潜在的リスク把握と必要な支援につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の拠点(地域集会所等)に子育ての専門職(保育士、看護職など)が定期的に巡回し、こどもや子育て世帯を見守る地域ボランティア等への情報提供を通じて、地域における支援力の向上を図り、子育て世帯の身近な相談の場を確保する(通年)。 ・乳幼児健診の狭間期である2歳6か月児を対象に、全家庭への質問書送付等によるポピュレーションアプローチを実施(通年)。 ・全ての4歳児を対象に、ポピュレーションアプローチの実施(通年)。 ・要対協登録事例の中で、特に潜在的リスクが懸念されるケースなど見守りが手薄なケースへのアプローチを行い、必要な支援につなげる(通年)。 	<ul style="list-style-type: none"> 【8月末】 ・就学前児童サポート推進員が巡回する地域の拠点(地域集会所等)を開設するため、3地域と協議中。その他、就学前児童サポート推進員が地域の子育てサロン、つどいの広場、保育園等を巡回中。 ・2歳6か月児を対象に、全家庭への質問書等を送付中(414件送付)。 ・4歳児のうち所属の無い児童のいる世帯に家庭訪問を実施中。また、区内の保育所幼稚園と調整し、施設訪問について準備中。 ・要対協登録ケースなどへのアプローチについては、6月に欠員解消されたため、現在対象世帯の選定など支援に向け準備中。 【1月末】 ・就学前児童サポート推進員が5地域で子育て相談会を開催し、11地域の地域見守り支援事務所を巡回するとともに地域の子育てサロン、つどいの広場、保育園等を巡回中。 ・2歳6か月児を対象に、全家庭への質問書等を送付中(764件送付)。 ・区内の保育所幼稚園と調整のうえ訪問し、在籍する4歳児への健康教育等を実施。 ・要対協登録ケースなど支援の必要な世帯へのアプローチを実施。 【期末】 ・就学前児童サポート推進員が5地域で子育て相談会を開催し、11地域の地域見守り支援事務所を巡回するとともに地域の子育てサロン、つどいの広場、保育園等を巡回中。 ・2歳6か月児を対象に、全家庭への質問書等を送付中(990件送付)。 ・区内の保育所幼稚園と調整のうえ訪問し、在籍する4歳児への健康教育等を実施。 ・要対協登録ケースなど支援の必要な世帯へのアプローチを実施。 	A
③専門機関の連携強化					
	A 「総合的な支援調整の場(つながる場)」の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・区内関係機関の協力を得て、埋もれたケースの発掘に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合的な課題を有する世帯に対する支援を前進させるため、「つながる場」会議を年間で通算10回程度の開催をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 【8月末】 ・緊急事態宣言やまん延防止措置が続く中、4月：2回、5月：1回、6月：1回、7～8月は開催を保留しているため、合計4回の開催に留まっている。 なお、9月以降は再開を予定している。 【1月末】 ・その後、9月：2回、10月：1回と開催を再開し、年度通算で7回の開催に至る。 ・今後、2月に1回開催を予定している。 【期末】 ・2月に開催を予定していたが、日程調整合わず開催できず。今後、6月に4年度1回目の開催を予定。2月に流れた件についても開催を推進する。 	B

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
B 子ども若者育成支援事業の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校やひきこもり等で悩んでいる子ども・若者を掘り起し、相談事業に繋げるなどにより継続的な支援を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談対応について、従前の週1日(木曜日)に加えて、半日(火曜日)を設定する。 ・ケース検討会議を年間6回開催する。 ・保護者向け講座を年間2回開催する。 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応については、緊急事態宣言期間中は会場変更を余儀なくされたものの、中止には至らず予定どおりに実施してきた結果、のべ相談件数は前年同時期比で約1.6倍の成果を収めている。 ・ケース検討会議については予定どおり、第1回(5月)、第2回(7月)と順調に開催し、困難ケースの支援についての具体的な論議を図っている。 ・保護者向け講座については、予定どおりに6月17日に第1回目を開催し11名の参加を得た。 <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応については、のべ相談件数は前年同時期比で約1.5倍と想定通りの成果を収めている。 ・ケース検討会議については、その後も第3回(9月)、第4回(11月)、第5回(1月)と計画どおり順調に開催し、様々な困難ケースの支援について具体論議を図ることができている。 ・フォーラムについては、予定どおりに11月19日に開催し21名の参加を得た。 ・保護者向け講座については、第2回の開催を2月17日に予定し、準備をすすめている。 <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応については、のべ相談数が前年以上の成果を収めている。 ・ケース検討会議は6回目を3月に行い、次年度に向けた検討を行った。 ・保護者向け講座については、第2回の開催を2月17日に開催し、10名の参加を得た。 	B
④ つながり・みまもり・支えあいシステムの構築				
A 区実務者代表者会議等を活用した包括的な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・区実務者代表者会議、またはそれに代わるものの開催について策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区社協と協議し、検討方法、スケジュールを定める。(～6月) 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会をめざし、地域福祉を推進するにあたり、区レベルでのネットワークの重要性について改めて保健福祉課内で認識共有し、開催に向け検討を進めることとした。 <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を見据えつつ、年度内開催に向け調整を進める。 <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月21日までまん延防止等重点措置が出されていたため、本年度中の開催に至らなかった。 	C

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
⑤ 虐待防止と権利擁護支援				
A 成年後見制度の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 権利擁護が必要となった時に、速やかに窓口につながるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報「すみよし」にて成年後見制度及び利用窓口の周知を行う。 必要時、ホームページに掲載している記事の更新を行う。 地域包括支援センターが行う総合相談や地域ケア会議にて、制度利用が必要な事案に対して後方支援を行う。 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度新規成年後見制度受案件数 15件 うち、地域包括支援センターが関与しているケースは 9件。 地域ケア会議や虐待事案等で随時後方支援を行っている。 <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度新規成年後見制度受案件数 23件 うち、地域包括支援センターが関与しているケースは 14件。 <p>地域包括支援センターは大阪市成年後見支援センターが実施しているの専門職派遣事業を利用して、積極的に高齢者の権利擁護支援を行っている。</p> <p>地域ケア会議や虐待事案等で随時後方支援を行っている。</p> <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度新規成年後見制度受案件数 25件 うち、地域包括支援センターが関与しているケースは 15件 地域ケア会議や虐待事案等で随時後方支援を行っている。 	B

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
(3) 災害時に備えた地域における支え合いの仕組みづくり				
① 住吉区地域見守り支援システムの構築				
A 日頃の見守り・声かけの未実施地域への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> 重点地域(長居・苅田・苅田南・苅田北)での、日頃の見守りが地域全体での取り組みとなっている。 コロナ禍でも工夫して見守り活動が実施できている地域が増えている。 個別支援プラン作成の必要性について未作成地域に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域見守り支援システム検討会議で情報を共有、協議し地域ごとの支援方針や戦略を策定し、支援する。重点地域(長居・苅田・苅田南・苅田北)で実施) コロナ禍での見守り方法について検討、地域に情報提供し、実施に向けて支援する。 新規台帳を地域に交付するときに、個別支援プランも一緒に渡すなど地域に必要性を理解して取り組んでもらえるよう働きかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【8月末】 <ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者支援台帳掲載者への見守り活動に活用するための啓発物品配布(災害時用簡易携帯トイレ) 苅田南見守り会議開催(7月12日) 【1月末】 <ul style="list-style-type: none"> 新規台帳に更新する際、個別支援プランの作成に向けて説明 【期末】 <ul style="list-style-type: none"> 町会エリアごとの見守り進捗状況を確認し、地域見守り支援システム検討会議で情報を共有 	B
② 施設や事業所との連携・協働の推進				
A 総合防災訓練の開催	<ul style="list-style-type: none"> 全12地域で総合防災訓練を実施し、地域防災力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練に向けた各地域での調整(4月～6月) <ul style="list-style-type: none"> 実施内容、場所の調整 実施に向けたスケジュール調整 総合防災訓練実施に向けた各地域での事前準備(7月～10月) <ul style="list-style-type: none"> 防災会議の開催 模擬訓練の実施 総合防災訓練の実施(11月) 総合防災訓練の振り返り(12月～2月) <ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケート集約 地域活動協議会及び災害救助部長会議等での報告、意見交換 令和4年度総合防災訓練の概要について 	<ul style="list-style-type: none"> 【8月末】 <ul style="list-style-type: none"> 第1回防災専門会議を開催(6月30日) 総合防災訓練概要を地域活動協議会会長会で周知(7月8日) <ul style="list-style-type: none"> ※3月11日開催の地域活動協議会会長会で令和3年度住吉区総合防災訓練の実施概要について説明済み 災害救助部長会議を開催(7月13日) 各地域での説明会を実施(7月～8月) <ul style="list-style-type: none"> 実施内容の詳細を説明 実施に向けたスケジュールを調整 【1月末】 <ul style="list-style-type: none"> 一時避難場所開設動画の作成(9月上旬) 模擬訓練の実施(9月～10月) 防災リーダー研修(10月2日住吉消防署にて) 第2回防災専門会議を開催(10月27日) 総合防災訓練を実施(11月13日) 総合防災訓練の振り返り(12月～2月) <ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケート集約 地域活動協議会及び災害救助部長会議等での報告、意見交換を予定(2月) 令和4年度総合防災訓練の概要(案)を作成予定(2月) 【期末】 <ul style="list-style-type: none"> 第3回防災専門会議を開催(3月2日) 3月地域活動協議会会長会で訓練結果報告と令和4年度総合防災訓練の概要について説明(3月10日)、各地域へは5月会議で報告・説明予定 新型コロナウイルス感染状況により、2月18日実施予定の第2回災害救助部長会議を3月14日に延期したが中止。令和4年度の第1回会議で報告予定 	B

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

		令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
			計画	実施状況	評価
	B 福祉避難所等連絡会の開催	・年2回福祉避難所等連絡会を開催し、情報共有及び災害対応力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回福祉避難所小委員会の開催(7月) ・第1回福祉避難所等連絡会の開催(8月) ・防災訓練の実施について ・業務継続計画(BCP)について ・第2回福祉避難所小委員会の開催(1月) ・第2回福祉避難所等連絡会の開催(2月) ・総合防災訓練の振り返りについて ・令和4年度総合防災訓練の概要について ・コロナ禍であるので参集形式を基本としつつ、状況に応じた開催方法を工夫する。 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回福祉避難所小委員会の開催(7月5日) 福祉避難所等開設運営動画の作成にかかる意見交換 ・第2回福祉避難所小委員会の開催(8月4日) 福祉避難所等開設運営動画の作成にかかる意見交換 総合防災訓練の実施について <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画(BCP)訓練についてオンライン会議開催(12月16日) ・業務継続計画(BCP)訓練実施(1月31日) 福祉避難所等開設運営動画を作成予定(3月) ・第3回福祉避難所小委員会を開催予定(3月) ・第1回福祉避難所等連絡会を開催予定(3月) 総合防災訓練の振り返りについて 令和4年度総合防災訓練の概要について <p>【期末】</p> <p>新型コロナウイルス感染状況により、3月実施予定の次の内容については令和4年度に延期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所等開設運営動画を作成 ・第3回福祉避難所小委員会を開催 ・第1回福祉避難所等連絡会を開催 	C
	C 社会福祉施設連絡会等とのネットワークの強化	・防災に関する体験や災害時に支援や配慮を必要とする方々との交流を通じて、みんなで災害への備えを考える防災イベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・企画会議の開催(4月～5月) ・第1回実行委員会の開催(6月～7月) ・第2回実行委員会の開催(8月～9月) ・第3回実行委員会の開催(10月～11月) ・防災イベント「あそぼうさい まなぼうさい おたがいさまの防災」開催(11月予定) 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回実行委員会の開催(8月17日) <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回実行委員会の開催(10月15日) ・第3回実行委員会の開催(11月4日) ・防災イベント「あそぼうさい まなぼうさい おたがいさまの防災」開催(11月27日) コロナウイルス感染防止の為、展示コーナーは、ほぼ体験ブースが無いように展示ブースを増やして定員100名とし、当日の参加者は60名 <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災イベントを11月に開催以降、実施状況無し 令和4年度4月～5月に、4年度の企画会議を開催予定 	B

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
(4) 地域福祉活動の担い手の層を厚くする取組み				
① 福祉教育・ボランティア活動の取組みの拡充				
A 区民への地域活動・社会参加の促進講座・研修の開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・講座・研修会の開催により、参加者が自主的な活動に取り組むことができている ・地域福祉活動に関心が高まる講座が開催できるよう区民のニーズや地域の動向等の情報提供、情報共有を行う 	(区社協実施予定の講座) ・手話奉仕員養成講座 ・ボランティアセミナー(除菌スプレー) ・傾聴ボランティア ・自殺予防セミナー ・ボランティア入門講座 ・災害ボランティア養成講座	【8月末】 ・手話奉仕員養成講座 9回 ・ボランティア・市民活動セミナー(除菌スプレー) 1回 ・ボランティア入門講座 1回 ・認知症サポーター養成講座(市大共催) 1回 【1月末】 ・手話奉仕員養成講座 13回 ・ボランティア・市民活動セミナー(あなたにもできる自殺予防) 1回 ・災害ボランティア養成講座 3回 ・聴き方教室 1回 【期末】 ・認知症予防学習会 1回 ・認知症サポーター養成講座 2回	B
B 福祉教育の実施支援	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育の実施による障がい等への理解と福祉の心の醸成 ・福祉教育を実施する際の協力者・協力団体が増えている ・新たな協力者、協力団体への声かけや地域、学校のニーズ把握を行い、情報提供、情報共有を行う 	・実施にあたっては新たな協力者や協力団体に声をかける。 ・福祉教育の実施(対象:地域住民、小・中・高・短大等) (車いす体験、障がい当事者講話等)	【8月末】 ・風の子学童クラブ(防災教育) 1回 【1月末】 ・福祉教育の実施 9回 ① 苅田小学校(3年生)車いすユーザーのお話 ② 風の子学童クラブ(1年生～6年生)防災-ダンボールベッド体験 ③ 建国小学校(3年生)視覚障がい者のお話 ④ 長居小学校(3年生)盲導犬ユーザーのお話 ⑤ 建国小学校(2年生)手話体験 ⑥ 長居小学校(2年生)点字体験 ⑦ 住吉小学校(6年生)点字体験 ⑧ 長居小学校(2年生)聴導犬ユーザーのお話 ⑨ 南住吉小学校(3年生)視覚障がい者への理解(当事者による講話と手引き体験) 【期末】 ・福祉教育 2回 ① 大領小(2年)手話体験 ② 遠里小野小(5年)車いす体験	B
C ボランティア交流会の開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり交流ライブの開催を通じて、地縁型・テーマ型の協働事業例が新たに生まれている ・ボランティア同士の交流により情報交換や活動の活性化を図る 	・まちづくり交流ライブの実施(3回) ・まちづくり交流プランの実施、支援(2プラン) ・ボランティア交流会の開催(1回)	【8月末】 ・まちづくり交流ライブの実施(オンライン) 1回(8月18日) ・緊急事態宣言下につき、開催方法を検討、オンラインで実施した。 ・まちづくり交流プラン打合せ 1回 【1月末】 まちづくり交流プラン打合せ(苅田地域) 4回 まちづくり交流プラン実施(苅田子どもまちあるき) 1回(12月11日) まちづくり交流ライブ代替事業 1回 【期末】 まちづくり交流ライブ(3月17日) 住吉区ボランティア市民活動センター登録ボランティア交流会(3月14日)	B

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
(5) 多様な協働(マルチパートナーシップ)による地域づくり				
① 地域包括ケア体制づくり				
A 在宅医療・介護連携の推進	<p>・コロナ禍であっても医療と介護の関係者が連携し合える機会づくりを行い、区民が「ACP(人生会議)」について知る機会をつくる。</p>	<p>・住吉区医療・介護連携推進会議の開催(年3回) ・会議で課題抽出を行い、今年度の活動計画を策定する。(多職種研修や区民啓発を行う等) ・「住吉どらやきの会」の協力と後方支援を行う。</p>	<p>【8月末】 ・住吉区医療・介護連携推進会議開催 4月23日WEB 課題抽出、今年度活動計画について 8月20日WEB 区民向け啓発、専門職研修について * 各回ともに新型コロナウイルス感染症に関する各機関での対応状況等について情報提供し共有を図っている。 ・住吉どらやきの会 ミニどらやきの会は5月から毎月、どらやきの会は7月に開催されており、新型コロナワクチン接種会場の状況等について情報提供を行った。</p> <p>【1月末】 ・住吉区医療・介護連携推進会議 3月11日第3回会議開催に向け準備中 <ACP啓発について> 専門職向け研修は、作成したDVDを利用して、3師会はWEB研修、介護支援専門員は集合型研修、訪問看護師は事業所や個人で研修、病院は院内研修をそれぞれ実施。 区民向け研修は、いきいきサロンや地域の小集団で実施されている健康教室等を利用して実施。 ・住吉どらやきの会 ミニどらやきの会は毎月、どらやきの会は12月に開催されており、情報交換、事例検討、2月に開催予定のどらやきカフェについて検討等実施した。</p> <p>【期末】 ・住吉区医療・介護連携推進会議開催 3月11日WEB ACP啓発について ・住吉どらやきの会 ミニどらやきの会 11回(WEB) どらやきの会 4回(WEB) 開催を検討していた、どらやきカフェは、コロナの蔓延防止措置中のため中止</p>	B

評価:A…目標を上回る実績があった
B…目標が達成できた
C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
B 地域包括支援センターの認知度の向上・運営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターが高齢者の総合相談窓口として認識できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報「すみよし」にて地域包括支援センターの周知を行う。 ・介護保険事業や高齢者支援事業を通じて地域包括支援センターの周知を行う。 ・地域包括支援センター運営協議会の開催(年3回) (地域課題の共有、事業評価等) ・地域ケア会議への積極的参加を行う。 ・地域包括支援センター連絡会に出席し、運営についての後方支援を行う。 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター運営協議会開催 5月21日WEB 事業実績報告、計画について 7月16日参集型 事業評価、委託期間満了に伴う評価結果報告について ・地域ケア会議 17回参加 ケースの支援について助言を行っている。 ・地域包括支援センター連絡会 4月から毎月出席 情報提供や情報共有、事務連絡等行っている。 <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター運営協議会 2月18日開催に向け準備中 ・地域ケア会議 31回参加 ケースの支援について助言を行っている。 ・地域包括支援センター連絡会 毎月出席 情報提供や情報共有、事務連絡等行っている。 生活支援課や保健福祉課とも連携し、生活保護受給者の支援や地域包括ケアシステムの構築を視野に入れた活動の取り組みにも協働している。 <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報「すみよし」にて、高齢者の総合相談窓口として、地域包括支援センターを掲載。 ・地域包括支援センター運営協議会開催 2月18日開催WEB 各地域ケア会議から見えてきた課題の報告とまとめ等 ・地域ケア会議 42回参加 ケースの支援について助言を行っている。 ・地域包括支援センター連絡会 毎月出席 情報提供や情報共有、事務連絡等行っている。 生活支援課や保健福祉課とも連携し、各担当の相談窓口が出来、連携しやすくなった。 	B

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
C 生活支援コーディネーターによる地域福祉の活性化	・事業実施を通じ活動・交流の場や新たな担い手が生まれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の一環として社協だより発行 ・協議体開催、コア会議の開催 ・活動の場づくり、交流の場の開発 ・ボランティア養成、啓発講座の開催 ・男性の社会参加促進支援 ・包括的支援事業(4事業)連携会議の定例開催 	<p>【8月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協だより高齢者食事サービス事業一覧掲載(7月1日発行) ・社協だより区内の銭湯MAP掲載予定(協議体委員検討) ・コア会議実施 1回 ・1層協議体開催 1回(オンライン) ・社会資源(新規立ち上げ支援2、拡充支援2、継続支援1) ・男性の社会参加促進 「男性のための百歳体操」、「やろう会」の継続支援 社会貢献活動「ハレ晴れ」新規立ち上げの活動支援 <p>【1月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協だより区内の銭湯MAPを掲載(11月1日発行) ※銭湯にまつわるエピソード募集 ・社協だより区内のお散歩MAP掲載予定 ・第1層協議体会議開催1回(対面) ・社会資源(新規立ち上げ3、拡充支援2、継続支援4) ・男性の社会参加促進 「男性のための百歳体操」、「やろう会」の継続支援 社会貢献活動「ハレ晴れ」新規立ち上げの活動支援 ・活動の場づくり(コモンフルールでの交流会、大依羅神社での出張相談会) ・社協ガーデン企画での園芸ボランティア支援 <p>【期末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山之内地域スマホ相談室の開設(9月～) ・第2層協議体会議開催(12地域) ・園芸ボランティアの個人宅訪問スタート ・社協だより区内のお散歩MAP掲載 	B

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった

	令和3年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和3年度		
		計画	実施状況	評価
② 社会福祉法人による公益的取り組み				
A 社会福祉施設連絡会との連携	・社会福祉法人による公益的取り組みを地域につなげていけるよう社会福祉施設連絡会と連携する。	・事務局である区社会福祉協議会と連携し、社会福祉施設連絡会が開催する人材育成の取り組みを後援するなど支援を行う。 ・社会福祉施設連絡会と連携、意見交換を行い、地域の実情に応じた公益的取り組みにつなげていく。	【8月末】 ・社会福祉施設連絡会が取り組まれている意義について、区役所内で認識共有し、連携、支援を進めていく。 【1月末】 ・新型コロナウイルス感染症の変異株による感染急拡大の状況により、参集形式の研修会等の開催が難しく、人材育成の取り組みが実施されていない。 ・引き続き社会福祉施設連絡会と連携し、地域の実情に応じた公益的取り組みにつながるよう支援していく。 【期末】 ・3月21日までまん延防止等重点措置が出されていたため、本年度中に人材育成の取り組みは実施されなかったが、4月9日・10日にガイドヘルパー養成講座が予定されている。 ・また、区の子ども・若者育成支援事業からの自立に向けた緩やかな就労先としての連携に向けて議論を進めている。	B
③ ビジネス的手法の導入支援				
A CB/SB社会的ビジネス化の推進	・区が関与したCB/SB起業件数及び社会的ビジネス化事業創出件数:3件以上	・人と人とのつながりづくりの促進、地域コミュニティの活性化、自主財源の確保を目的に、地域が抱える様々な課題を地域住民が主体となってビジネス的手法で課題解決に取り組むCB/SB、社会的ビジネス化を推進(通年) ・コミュニティ回収事業や広報紙の配布事業について、地域活動協議会会長会で実施地域の情報共有を行いながら、各地域活動協議会へ情報提供(年1回)	【8月末】 令和3年4月より、広報紙配布事業及びペットボトル回収事業を各1地域で新規実施。(広報紙配布:苅田、ペットボトル回収:墨江) 【1月末】 ・ペットボトル回収事業について、地域活動協議会会長会で情報提供(10月14日)及び未実施地域への働きかけを順次実施。 【期末】 ・令和4年3月より、ペットボトル回収事業を1地域で新規実施。(清水丘)	B

評価:A…目標を上回る実績があった
B…目標が達成できた
C…目標が達成できなかった